



議会だより

2007
第22号

2007. 6. 1

特別号



宇多津小学校運動会

Contents

新議員紹介	2～3
平成19年第1回定例会	4～5
一般質問	6～8
子ども議会	9
議会日誌・編集後記	10

うたづ議会だより

電子メール : gikai@town.utazu.kagawa.jp

発行 : 宇多津町議会

〒769-0292 香川県綾歌郡宇多津町1881

☎ (0877) 49-8014

編集 : 議会広報特別委員会

就任のごあいさつ

青木 義勝 議長



皆様方の真心からのご支援により
議会に送っていただき深く感謝申し
上げます。過日の臨時議会におきま
して、不肖私が議員の皆様方より議
長職へのご推挙をいただきましたこ
とは誠に身に余る光栄でございます。
議会運営を通して町政発展へと懸命
に努力する決意であります。現在、
少子高齢化、格差、福祉・教育・産
業、安全・安心等、山積する諸問題
に対して、いかなる時代背景があろ
うと「議会は言論の府」としての役
割を果すことにより、論戦のなかで
決定された「民意」は絶対的に尊重
されなければなりません。執行部と
は車の両輪、「付かず離れず」「是々
非々」をもって微力ではありますが
宇多津町発展に全身全霊をもって努
力する決意でございます。町民皆様
方の一層のご指導とご鞭撻を心から
お願い申し上げます。

趣味 読書・音楽鑑賞
好きな言葉 リーダーは奉仕者たれ！

井原 猛雄 議員



抱負 いままでもこれからも利権・
不正とはキッパリ対決
趣味 読書
好きな言葉 初志貫徹

藍川佳津樹 議員



抱負 わが町の恵まれた地勢を活か
した将来のヴィジョンを描き、よ
り多くの住民が誇りに思える町づ
くり、微力ながら尽くしたい。

趣味 香川二期会合唱団常任指揮者
好きな言葉 継続は力なり

谷川 俊博 議員



抱負 「人と人とのふれあいを大切
に」をモットーに、宇多津の未来
に若さと行動力で持てる力の全て
を投入し、一生懸命頑張ります。

趣味 スポーツ観戦・ゴルフ
好きな言葉 誠心誠意

大松喜次郎 議員



抱負 皆様と一緒に「心豊かに生活
でき、夢を持てる宇多津町」を実
現するために、日々努力していま
います。

趣味 歴史探訪・テニス
好きな言葉 終始一誠意

委員会構成

◎委員長 ○副委員長

総務民生常任委員会

◎谷川 俊博
○池田 弘昌
平田 弘次
大松喜次郎
青木 義勝

建設教育常任委員会

◎香川 虎生
○藍川佳津樹
宮本 隆
西本 弘子
井原 猛雄

議会運営委員会

◎池田 弘昌
○大松喜次郎
谷川 俊博
藍川佳津樹
井原 猛雄

議員紹介

西本 弘子 副議長



日頃より、町議会の運営にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この度は、副議長という大任を仰せつかり、その責任の重さを痛感しているところでございます。今後は議長の後任として誠心誠意、議会の円滑な運営に取り組んでまいりたいと思っております。

今、宇多津町も厳しい状況の中にあつて、町当局と議会が一丸となり改革に取り組んでいかなければなりません。私も皆様の声に耳を傾けながら、町の発展のために積極的な提案を行ない、「元氣あふれる宇多津町」を目指す所存です。また、女性の代表という責任の重さを感じておりますので、きめ細かな施策を提案し、人にやさしい町づくりを進めてまいります。

趣味 旅行
好きな言葉 朝の来ない夜はない

池田 弘昌 議員



抱負 住みたくなる町、訪れたい町を目指して、心豊かに暮らしをいける町づくりをしていきたいと思ひます。

趣味 ソフトボール・ゴルフ
好きな言葉 念ずれば花開く

香川 虎生 議員



抱負 「宇多津教育マスタープラン」の実施に向けて一翼を担っていきたい。

趣味 映画鑑賞
好きな言葉 日々邁進

宮本 隆 議員



抱負 子供たちの夢・未来・元氣のために宇多津町の夢・未来・発展のために真つ直ぐな気持ちで、一所懸命頑張ります。

趣味 温泉旅行・レース鳩
好きな言葉 為せば成る

平田 弘次 議員



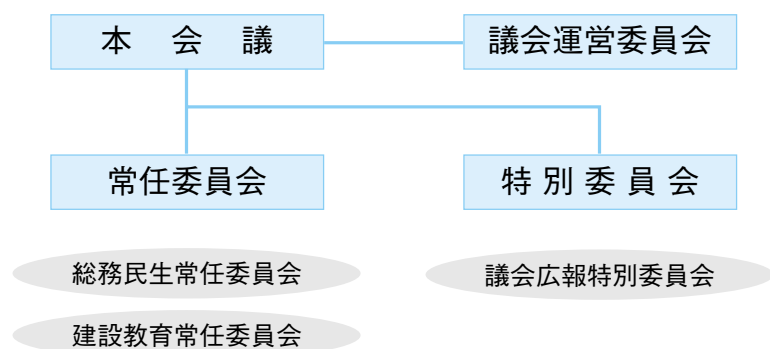
抱負 町民の皆様が宇多津に住む喜びをもっと実感できる様、熱意と情熱をもって働きます。

趣味 海釣り、映画鑑賞
好きな言葉 一寸先は光

議会広報特別委員会

◎香川 虎生
○平田 弘次
宮本 隆
大松喜次郎
西本 弘子

本会議と委員会の関係



平成19年 第1回定例会



平成19年 第1回定例会

平成十九年第一回定例会は三月六日から三月十九日まで開催され、議案二十九件、請願一件、その他一件を審議した。一件は継続審議とし、その他はすべて可決した。一般質問には八人が登壇し「中学校体育館の入札問題」「町の活性化にロケ地誘致」「暴走族対策」「新学期からの取組み」「鴨田川の改修」「発達障害児支援の充実」などについて活発な議論が交わされた。また町長より平成十九年度の所信表明がなされた。



熱心に聞き入る傍聴者

主 な 内 容

- 平成十九年度予算（一般会計、特別会計四件、水道事業会計）を可決
- 平成十八年度補正予算（一般会計、特別会計四件、水道事業会計）を可決
- 議員発議
 - ・選挙公報の発行に関する条例の一部改正
 - ・医師及び看護師不足を解消し、安心できる地域医療体制の確保を求める意見書
- その他四件を可決

平成19年度一般会計予算について 歳入歳出それぞれ52億7,100万円とする。

既成市街地整備などのまちづくり
交付事業に二億三千二百万円

道路新設改良事業に一億七千万円

・町道新開坂下西線新設工事に四
千万円

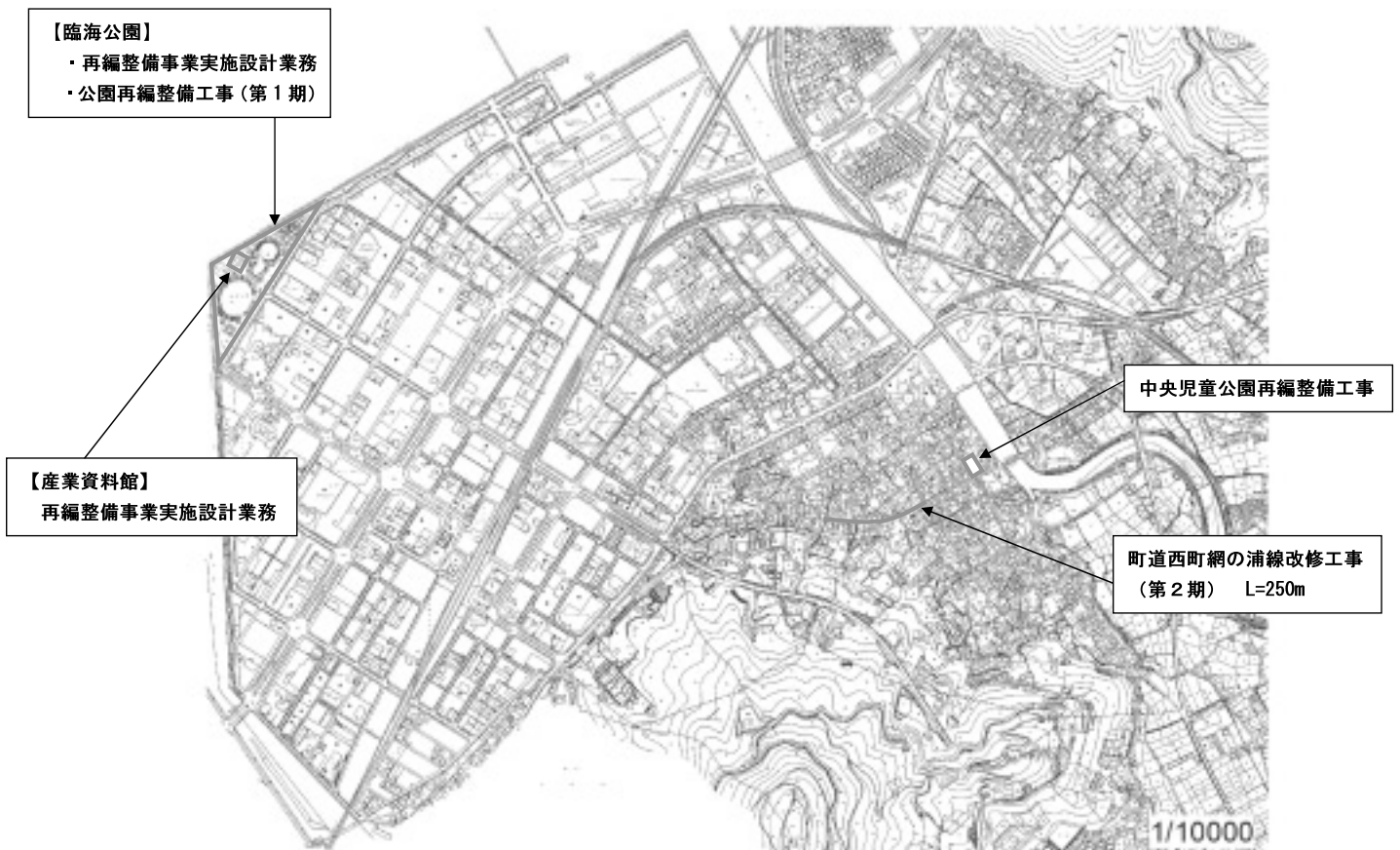
・町道宇多津海岸線舗装工事に三
千五百万円

他四件

水槽付消防ポンプ自動車に五千二百
万円

宇多津小学校での耐震診断業務委
託として八百五十五万円

平成19年度まちづくり交付金事業施行予定箇所図



Q&A

「無理が通れば道理が引つこむ」でよいのか！入札制度の改革もとめて中学校体育館入札問題の追及

Q

既報の通り、中学校体育館工事の落札率は98・8%と、まさに神業的とも、行政と業者の「あ・うん」の呼吸の賜物とも思える結果でした。世間や業界の常識から考えても談合疑惑はその落札率同様、限りなく100%に近いもので、「血税を喰いものにする犯罪」との非難は免れません。

12月議会での入札制度改革を求める井原議員の追及にも宮本助役は「設計金額をギリギリ低く見切ったので落札率の数字が高くなる」などと疑惑解明に背を向け、また「郵便入札は事務がわずらわしい。電子入札は年間100件程度なので必要ない」と答弁するなど、全国的な談合防止入札制度改革の流れに逆行する態度を示しました。

仮に中学校体育館工事で85%の落札率であれば約5,000万円、80%であれば8,000万円の町費が節減できます。ゴミの手数料3,160万円、敬老祝い金削減630万円など一挙に解決できます。

A

宮本助役



井原猛雄 議員

落札率が高いことにつきましては、工事を発注する町、県、国といった機関ごとに、予定価格の設定の考え方が異なりますので、落札率の高いこと、あるいは低いことのみをもって、町の経営負担、つまりは住民の皆様の負担が大きい小さいを議論することはできないと考えています。

次に、ご提案のあった電子入札、郵便入札につきましては、大量の入札事務の効率化、あるいは費用対効果等も考慮しますと、導入の必要性は少ないと考えております。

入札契約制度の改善につきましては、これまで指名競争入札を基本としつつも、一般競争入札の利点を取り入れた制限付き一般競争入札を一部導入しているところです。また、十八年度には、指名停止措置要領の強化や工事請負契約約款の見直し等も順次実施しており、今後とも、より適切な入札契約制度の改善に努めてまいります。

町の活性化にロケ地誘致を！

Q

宇多津臨海公園一帯の「恋人の聖地」や「みなとオアシス」また旧町内の「町家」を町の活性化につなげるため、「香川フィルムコミッション」を活用して、映画やテレビのロケ誘致を行なうてはどうか。

A

谷川町長

活性化のために非常に大事なことと思っています。まず、臨海公園について、道の駅や「恋人の聖地」の認定を受けた辺りを、着実に人が訪れる場にしていくことで、ロケ誘致等も併せ、色々な方々が活用、来町して頂けるのではないかと、十九年度から臨海公園の整備事業を始めていくことになっています。また、既成市街地の方は、すでに住民の皆様の参加を得て委員会を開催し、生活者の視点で歩行者に安全な道づくりから始めようということで、今道づくりをさせて頂いております。これを中心にし、まず住む人が、安全に安心して潤いある生活がそこで送れることを視点にした町並み整備をするつもりです。それにより映画やロケ地として活用頂ければこの上ないこと

Q

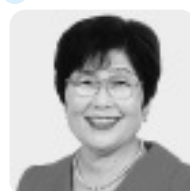
保育所の民営化について伺いたい。

給食センターのPFI導入を皮切りに、町では保育所の民営化を視野にいれていると伺ったが、障害児の受け入れなどの対策は大丈夫か。

A

亀井保健福祉課長

現在、民営化については関係職員により検討し、そのメリットとデメリット、子どもたちやその保護者の皆様の不安、危惧することの内容を整理しているところです。そして、障害のある子の受入れを行うことを前提とし、人的なものも含め、どのようにすれば可能なのか検討し、今後、受入れにどのような方策や手立てが必要なのかを調査していく予定です。



西本弘子 議員

暴走族対策について

Q これから暖かくなり、各地でイベントが開催される、これからの季節は、暴走行為も活発化するものと思われます。週末の深夜を中心にもまれる暴走族の集団走行など、町民の安全な通行を著しく阻害し、また、周辺の住民がその騒音に悩むなど、町民生活に多大の悪影響を及ぼしており、これら暴走族による悪質な行為の防止対策について、町として、どのようにお考えなのか

A 西山住民生活課長

警察によりますと、暴走族のOBが週末に新都市周辺を集会・暴走をしている状況です。町としては臨海公園駐車場の夜間封鎖、高照度防犯灯の設置等、環境整備に取り組んでいます。しかしながら、暴走族対策においては、取り締まりが一番であり、町としては防犯に係る協議会、安全・安心まちづくりの会と警察との情報交換を密にし、徹底した取り締まりの実施を要請していくなど、より効果的な方策を検討していきたいと考えております。

Q 子供の居場所づくり事業について



谷川俊博 議員

文部科学省では、家庭、地域、学校が一体となって取り組む子供の居場所づくりプランを実施して参りました。宇多津町では、どのような対応をなされたのでしょうか、また、近年、共働き等の家庭が増えてきて、児童館、放課後児童育成クラブの役割が重要になってきております、現在のキッズプラザでは、手狭になって来ていると思われますが、今後の対策について、どのようにお考えなのか

A 谷川教育次長

平成十六年度から放課後スポーツ教室を週一〜二回の割合で開催し、十八年度は卓球・グラウンドゴルフ・女子ソフトボール・ドッジボールの四種目で六十一名の参加がありました。ご指摘のとおり、既存の施設では手狭な状態ですが、各部署の有効活用や活動内容を検討することにより、保護者の要望に応えたいと考えております。

「新学期からの新しい取り組み」は？

Q 北小学校の児童数増加に対する教室の対応は。

障害児増に対しても対応は出来ているのか。

A 藤原学校教育課長

宇多津教育マスタープランを作成しており、これに従って教育を進めてまいります。

一年生四クラス、二年生三クラス、三年生、四年生がそれぞれ四クラス、五年生、六年生がそれぞれ三クラス、合計二十一クラスと予想しており、三クラスの余裕教室を持っています。人口統計資料では、数年先まで最大二十四クラスで普通教室が確保できると予想しています。

障害児増に対する対策については、平成十九年度の学級数は三クラスと予想しており、クラス数が増えますと普通学級が不足します。こうした状況の場合には、宇多津小学校に新たな学級を開設するなどして、普通学級の問題と一緒に検討してまいります。

Q 「学童保育」について



香川虎生 議員

児童増加に対する対応は出来ているのか。保育時間の延長は可能か。

A 谷川教育次長

新年度には児童が増加し指導員三名では負担が危惧されますが、現体制で安全面に配慮した取組みを検討したいと考えております。時間延長については、規則改正を行い、現在の午後五時半から午後六時までとしたいと考えております。



Q&A

鴨田川の改修はどうなっているのか。

Q

鴨田川の改修の必要が叫ばれだして、かなり長い年月が経ちます。この間にも、何度も台風などで近隣の家や田んぼが冠水したことがあり、田畑の作物や道路浸水により交通が遮断されたり家屋の浸水により農機具や住んでいる住居に大きな被害を受けたり、衛生面でも不安な思いをされた方も少なくありません。また今日状況では川の周辺も調整区域が見直され、水田であったところにも開発が進み家屋が建ってきました。工事を3工区に分けて

工事を進めていくと聞いておりますが、1期工事はまだ始まっておりません。今どのような状況になっているのかお聞かせをいただきたいと思っています。

早い機会に県とも相談し、関係者だけでなく現在の状況を説明することが必要ではないでしょうか。

10年近くにわたり、工事が滞って



池田弘昌 議員

A

北本建設課長

いる問題を明確にし、今後の計画を地権者に理解をしてもらうことがまずは先決ではないでしょうか。
1日も早い改修工事始まることを望むと共に、地権者への説明を早急にお願います。

第一工区の用地買収を進めておりますが、地権者三十名のうち十八名の方が完了しております。第一工区の下流側を重点的に用地買収を進めておりますが、建物補償を含む地権者が多く、年に一、二件の契約しかできていないのが現状です。次に、地権者への説明会についてのご提案ですが、平成十三年度に開催した後行っております。この数年間の県の財政状況も変わってきておりますので、説明会の開催について、県と相談してまいります。

「発達障害児」支援の充実を

Q

学校教育法の改正に伴い、特別支援教育の充実が図られます。本町も増加傾向にある「学習障害、注意欠陥・多動性障害」の子どもたちへ総合的な支援の充実を図るべきと思うが。

A

藤原学校教育課長

特別支援教育支援員の配置についてですが、校内では、特別支援のコーディネーターを定めて、校内委員会を設け、校内委員会を開いて情報を共有し、担任だけに任せることなく、職員全員の教育のもと支援を行っております。また、軽度発達障害の児童への支援のための学校支援ボランティアの募集も行いう予定です。

Q

「無料妊婦検診」回数増を願



青木義勝 議員

妊婦検診は、妊娠から出産まで14回程度の受診が望ましいが、本町は町独自で4回の無料検診を実施。この程、国も少子化対策として無料妊婦検診を5回程度受診できるよう財政措置がなされた。本町として、あと1〜2回増やせないのか。

A

亀井保健福祉課長

平成十九年度地方財政措置で、総額において拡充の措置がなされ、妊婦健康診査は五回程度の公費負担が望ましいというような内容となっております。しかし、これは自治体の実状に応じて検討するものであり、本町では県からの補助金が打ち切られた後も、これまでの回数を維持しておりますが、今後国からの具体的な支援策などが判明すれば、その時点で判断させていただきます。

子ども議会

子どもたちの想いを町の執行部に

毎年恒例の「子ども議会」が、2月13日に町議会本会議場で行なわれました。宇多津小学校、宇多津北小学校、宇多津中学校から選ばれた3名ずつの子ども議員が、議場に立ちました。議長役、速記者は子どもたちでしたが、答弁側は本会議と同じように各課の担当課長が並び、粛々と議会が執り行われました。また、町議会議員はいつもとは違い、傍聴者席で議会の様子を見守りました。



小学校からの提案

宇多津小学校の子どもたちから「ノーマディアデー」設置の提案と、宇多津小学校とユープラザやキッズプラザを結ぶ「町バス」運行の要望が出されました。



北小学校からの条例設置提案

宇多津北小学校から「ポイ捨て禁止条例」の制定の提案が出されました。特にタバコ、空き缶のポイ捨て禁止や飼い犬の糞の回収についての条例設置の提案は、日頃から学校や児童会の活動として「町内の清掃活動」に取り組んでいる子どもたちの率直な意見なのでしょう。



中学校からの要望

宇多津中学校の生徒からは、町全体としての「あいさつ運動」の展開、自然を学ぶ施設設置や町のゴミ対策についての要望など、本会議さながらの質問も寄せられました。

最近選挙のたびに、投票率の低さが問題になりますが、子どもたちが小さいころから行政を身近に感じ、大人になっても関心を持ち続けてくれることを願わずにはられません。

議会日誌

2月

- 6日 議員総会
- 19日 議会運営委員会

3月

- 1日 議会運営委員会
- 2日 全員協議会
- 6日 第1回定例会開会
- 8日 一般質問
- 9日 合同委員会
- 12日 合同委員会
- 13日 総務民生委員会
- 14日 総務民生委員会
- 15日 建設教育委員会
- 19日 定例会閉会
議員総会

4月

- 3日 議員総会
- 25日 議員懇談会

5月

- 1日 臨時議会
- 8日 議員総会
- 31日 議会運営委員会

表紙の言葉



宇多津北小学校運動会

青空の下、宇多津小学校と宇多津北小学校の運動会が5月19日に行われました。

一年生にとっては入学以来、初めての大きな行事に少し緊張したと思いますが、練習の成果はしっかりでていました。また、クラス替えのあった学年は、クラスがひとつになるのいいチャンスだった事でしょう。これからも、クラス、学校が仲良くひとつにまとまり、宇多津の子供たちは諦めずに最後までがんばりぬく心も育てと願う。

開かれた議会を目指して

宇多津町議会では、議会活性化のために、様々な取組みをしています。

- 定例議員総会（毎月第1火曜日）
- 『議会だより』の作成・発行（年4回）
- 日曜議会・夜間議会などの開催
- 各委員会による調査・研究など

ご意見等は議会へ

編集後記

▼統一地方選挙が終わった。宇多津町も、公職選挙法制定後から十五回目の町議会議員選挙で、新人三名を含む十名の顔ぶれが揃った。全国的に投票率の低下が心配される中、宇多津町も例外ではない。▼以前、インターネット上で「みんなにあげる選挙権／投票に行かない理由」というコラムを読んだことがある。そこには、「一票の重さ」ではなく「一票の軽さ」を論じていた。この持論が全て正しいとは思わないが、こういう考えもあるということを、次のためにも知る価値はある。▼ともかくにも選挙は終わった。しかし、我々が果たすべき役割はこれからがスタート。町民一人ひとりの幸せ感をより膨らませていくための「しあわせ率」の向上に尽力していきたい。▼引き続き、宇多津町議会をどうぞよろしくお願い致します。

(K・H)

議会広報特別委員会
議長 青木 義勝
委員長 香川 虎生
副委員長 平田 弘次
委員 宮本 隆
大松喜次郎
西本 弘子